

国家エネルギー委員会年次報告

国家エネルギー委員会（CNE）による 2017 年 6 月から 2018 年 5 月までの年次報告会にて聴取した概要は以下の通り。

1. CNE のエネルギー戦略：

- ・エネルギー発生源の多様化と再生可能エネルギー促進。
- ・エネルギー部門の制度強化と消費者保護。
- ・エネルギー効率化と省エネ文化の浸透。
- ・技術革新促進。
- ・中米地域エネルギー統合化。
- ・電力料徴収と価格の多様化。

2. 再生可能エネルギー発電：

2013 年 水力、バイオガス、太陽光発電の小規模プラントからスタートし 15 年契約で 15MW を発電した。その後、太陽光発電の増強、ゴミ収集利用方法効率化、水力発電への傾注を進め現在の発電方法は以下の通り。

	水力	地熱	火力	バイオマス	太陽光	バイオガス	合計
2010 年	487	204	697	94	0	0	1,481MW
2017 年	574	204	764	264	110	7	1,923MW

2017 年の発電方法は、火力 40%、水力 30%、地熱 11%、バイオマス 14%、太陽光 6%、バイオガス 0.4%となっている。再生可能エネルギー比率は 60%。

2017 年は太陽光と風力発電で 170MW 発電のプロジェクトを承認し、

2018 年は太陽光とバイオガス発電で 28MW 発電プロジェクトを承認した。

2019 年には 5 県で太陽光 120MW、風力 50MW の発電所設置運営の入札を行う予定。

尚、民間企業 AES に太陽光発電 10MW プラントを合計 10 基設置する契約を締結しており、この進捗状況をモニタリングしている。

La Unión 県に 3 基（18 年 5 月から稼働）

Usulután 県, Santa Ana 県, Sonsonate 県に 4 基

San Salvador 県に 3 基。

3. 天然ガス発電:

2012年に天然ガス利用の355MW 発電の民間への入札を発表。コンソーシアムのEnergía de Pacifico(EDP)社が受注し2021年に操業開始見込み。Acajutla 港にLNGプラント設置予定。

4. 省エネプログラム (PESAE):

官, 民, 組合, 大学など 25 機関による省エネプログラムを策定。2014年から省エネ大賞を授与しており2018年は製造会社, ホテル, 酪農, 中小企業に授与した。

官庁ビルのエネルギー使用目的は, 照明50%, エアコン28%, パソコン12%, その他器具10%であり, まずは官庁を筆頭に省エネを促進しその効果を民間にも導入する計画。そのために照明器具とエアコンの代替を促進する予定。資金源は, 中央政府, 市役所に関して投資信託を考えている。

5. 法令化:

2019年より電気モーター, 冷蔵庫(商用, 家庭用), エアコンの消費電力値を決め法令化する。費用削減, 環境保全, 製品品質向上に繋がる。

6. 中米域内とメキシコの送電網:

グアテマラとメキシコは送電網が接続されているが, 中米域内とメキシコとの送電線網接続については2019年にそのモデルを策定する(中米各国域内では送電線網はある)。

7. 天然ガス法:

発電用天然ガスに関する立法を図る。米国を参考に効率的な利用, ガス輸送方法に係わるものを法令化する予定。

以上